平成29年 9月15日

①学校名:	弘前大学		②所在地:	青森県弘前市文京町一番地		
③課程名:	大学院保健学研究 (博士前期課程)が 看護実践	权射線看護高度	④正規課程/履 修証明プログラ ム:	正規課程	⑤開設年月日:	2015/4/1
⑥責任者:	大学院保健学研究		0.2.	保健学専攻30人(平成28 年度放射線看護高度看護実 践コース修了者2人)		2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	目的:放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を基盤とし、施設や地域における個人や集団の放射線被ばく防護対策に従事すると共に、放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族および集団に対して高度看護実践を行うことのできる看護師を育成する。概要:本コースでは、放射線看護の高度実践者として「被ばく医療看護」と「医用放射線看護」を専門とする看護師の養成を行う。具体的には、被ばく医療の拠点となる医療機関の受け入れ体制を整え、放射線被ばくや防護に関する専門知識を持つ専門職者として住民の健康管理および放射線リスクコミュニケーションができる人材、また、放射線診療を受ける患者や家族等の安全・安心のために、医療被ばくや公衆被ばく、職業被ばくの低減、放射線の身体影響を有する患者や放射線被ばくへの不安を持つ対象者に対して水準の高い看護が提供できる人材の育成を目指した教育を行う。					
⑪4テーマへの 該当の有無	無	①履修資格:	下記のいず、 得見込みの不 2)大学を育は104 学行う又、外 2)学校園においてが考えいたができるいで、 3)外国においてが考えいたができるいで、 5)教育といてがが表しているといる。 5)教育とでは、 5)教育とでは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育とは、 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5)教育を 5 教育を 5 教育を	当する者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得 見込まれる者を含む。) した者 (育における15年の課程を修了した者 値複教育における授業科目を我が国において履修するこ 国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育に て当該外国の学校教育制度において位置付けられた教 でした者 ・強により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると	30年3月またに長与される 引までに接与される 月までに投与みの者 とにより、当該外国の学科 おける16年の課程を修 育施設であって、文部科 ⁴ 至が定める基準を満たす。 下平成30年3月までに修 大学院における教育を受 帰したものと本研究科によ とにより当該外国の学校 おける15年の課程を修了 育施設であって、文部科 ⁴	合格した者 は見込みの者 交教育における16年の 了したとされるものに限 さ大臣が別に指定する ものに限る。)で文部科 「見込みの者 けるにふさわしい学力 はいて認めたもの(平成 教育における15年の課 でしたとされるものに限 で対していまする
⑪対象とする職 業の種類:	看護師					

1						
(13身に付けることのできる能力:	(身に付けられる矢・放射線と技術のはでは、 放射線を持続のはでは、 放射線を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	被ばく、放射線防響に関する知識が限にするため 対線リスクコミュー する教育に必要を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	が護に関する専の知識と技術ニケーションにな知識と技術、の調整に関す	門関るの主能・判しようでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	れる能力) の知識、技術、技能に基づ 線被ばくを最小限にするた 管理能が放射線に関するが や集団が放射線に関するが を集団が放射線に関するが を発活動及び相談活動で では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、大きながでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	めの的確な臨床 正しい知識を有 だと行動ができる 活動がでる知識 いできる知力 ができるより ができるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるより できるならし できると できるならし できると できるならし できるならし できるならし できるならし できるならし できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できるなら できる。 できるな できるな できるな できる。 できるな できる。 できるな できる。 できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる
⑭教育課程:	学特論、フィジカルに関する高度ななる程として、基礎学特別演習、義では、事例分析を対した。といいる。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	アセスメント、病門知識・技術、放射線学特論、被ばく医療看護 やシミュレーションでいる。さらに、 でいる。さらに、 でいる。間の調整に でいる。	態生理学、臨底 対射線看護の対 被ばく医療学 論、被ばく医療学 論、教育、グルー 対射線で、放射線で、 放射線で、 放射線で、 放射線で、 放射線で、 放射線で、 が理的影響を	末薬理学等 持 計象論、大 計 表 計 表 計 表 計 表 計 表 計 表 計 表 計 表 計 表 計	護理論、コンサルテーショを置く。また、放射線被ばな解と看護支援のための知識線医学特論、放射線看護等。、医用放射線看護方法論・取り入れることで、看護実Ⅲの科目を置き、臨床現場、協力、臨床判断能力、看護ま力、臨床判断させるよう構	《や放射線防護 戦・技術を育成線 学特論、放射線 を置く。上記 践力向上を 場での看護、 場での看護 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と
⑤修了要件(修 了授業時数等):					得することである。このうち 長終試験に合格すること。	課題研究につい
⑩修了時に付与される学位・資格等:	(学位名):修士(看 (大学独自の資格:		高度実践看護	師(Radiolo	gical Nursing Specialist)	
①総授業時数:	49 単位	®要件該当授 業時数:	42	企業等 変当 双方向 要件 実務家 実地	1 19要件該当授業時数	85.71%
②成績評価の方法:	授業科目を履修し ポート、実技の成約	試験に合格した: 責等によってこれ	者に所定の単作 に代えることか	立を与える。 ヾある。	但し、試験は筆記試験に	限らず、論文、レ
②自己点検・評 価の方法:	度)及び選択的評分でである。このでは、 受審している。この でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でいる。 でのでは、 でいる。 でのでは、 でいる。 でのでは、 でいる。 でのでは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	価事項「研究活動)他に、各事業年 え・評価を行ってい	かの状況」(平月 度における業 Nる。	艾18年度)る 務の実績に	大学機関別評価(平成172 を受けた。また、外部評価(ついて国立大学法人評価	(平成20年度)を 委員会の評価、
		で平成29年3月の			平成29年9月、平成30年1 隻実践活動等の情報を収集	
②企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成 企業等(実習を合うを 前の内容の発表を引 修内容の発換を 見は、本経を は、を経験を は、経験を は、経験を は、経験を は、経験を は、経験を は、経験を は、経験を は、経験を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、)の看護管理者を 議、学生の学り が、次年度教反い、次年の教育課程に 育課程に 育課程に 一条で 一条で 一条で 一条で 一条で 一条で 一条で 一条で 一条で 一条で	内容を確認・すの 大字を確認・する 大学 大学 大学 はいまま で は 大学 は	は有・指導・引 後の意見を 成にるワーキ 家医育記の 学内会議 (月1回価」 (長) (京検・評価」	者と教員で組織する調整会 助言を行うカンファレンス、 の場で、実習科目及び教育 取り入れる。上記調整会詞 シググループ会議(月1回 研究所の担当者と本学教 関する課題を検討して頂 で出された意見は、本コー 能)で共有、教育効果等を において、課程の点検・評	実習終了時の学 育課程全体に対 義等で出された意 開催)で共有し、 の組織する意 で組織する意 と、出育課程の検証 大教証し、その検証 である。
倒社会人が受講 しやすい工夫:	講義は平日の夜間導入、長期履修制				日に集中講義、一部の科目	∃ Ce-learning (/)
②ホームページ:	(URL) http://ww	vw.hs.hirosaki-u.	ac.jp/kouhou/	ng/web/dai	gakuin/course_hosyasenka	ango.html

事務担当者名:	本庄 豊	所属部署:	弘前大学保健学研究科学務グループ
連絡先:	(電話番号)	0172-39-5911	
	(E-mail)	jm5911@hirosa	ki-u.ac.jp

^{*}パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
*様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを 必ずご確認ください。